

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／その他資産（商品）
信託期間	無期限（2011年2月7日設定）
運用方針	主として純金上場信託（現物国内保管型）受益証券への投資を通じて、わが国の取引所における金価格の値動きをとらえることをめざします。純金上場信託（現物国内保管型）受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。なお、純金上場信託（現物国内保管型）受益証券の基準価額と市場価格との乖離が著しい場合等には、他の上場投資信託証券に投資することがあります。
主要運用対象	純金上場信託（現物国内保管型）受益証券を主要投資対象とします。
主な組入制限	受益証券発行信託の受益証券への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。 分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）

運用報告書（全体版）

三菱UFJ 純金ファンド

愛称：ファインゴールド

第15期（決算日：2026年1月20日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに謹んで運用経過等をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしく
お願い申し上げます。



三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル

0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指標指数(指標価格)		受益証券の発行信託受益証券比率	純資産額
	(分配落)	税分	込配	騰落率	騰落率		
	円	円	円	%	%	%	百万円
11期(2022年1月20日)	16,869		0	6.9	6,771	99.1	66,063
12期(2023年1月20日)	19,701		0	16.8	8,007	99.0	101,271
13期(2024年1月22日)	23,497		0	19.3	9,636	99.5	154,622
14期(2025年1月20日)	32,736		0	39.3	13,677	99.7	298,729
15期(2026年1月20日)	57,985		0	77.1	24,639	99.8	908,581

(注) 当ファンドの参考指数(指標価格)は、大阪取引所(2020年7月22日までは東京商品取引所)における金1グラム当たりの先物価格をもとに現在価値として三菱UFJ信託銀行が算出した理論価格です。参考指数(指標価格)は、日本における金の店頭小売・買取価格や海外で公表される取引価格とは異なります。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指標指数(指標価格)		受益証券の発行信託受益証券比率
	騰落率	騰落率			
(期首) 2025年1月20日	円	%	%	%	%
1月末	32,736	—	13,677	—	99.7
2月末	33,403	2.0	13,973	2.2	99.7
3月末	33,219	1.5	13,868	1.4	99.6
4月末	36,417	11.2	14,970	9.5	99.8
5月末	36,343	11.0	15,186	11.0	99.8
6月末	36,553	11.7	15,292	11.8	99.8
7月末	36,547	11.6	15,293	11.8	99.7
8月末	37,849	15.6	15,879	16.1	99.7
9月末	38,591	17.9	16,165	18.2	99.8
10月末	48,254	47.4	18,506	35.3	99.2
11月末	48,576	48.4	20,114	47.1	99.7
12月末	50,815	55.2	21,326	55.9	99.8
(期末) 2026年1月20日	52,657	60.9	22,175	62.1	99.7
	57,985	77.1	24,639	80.1	99.8

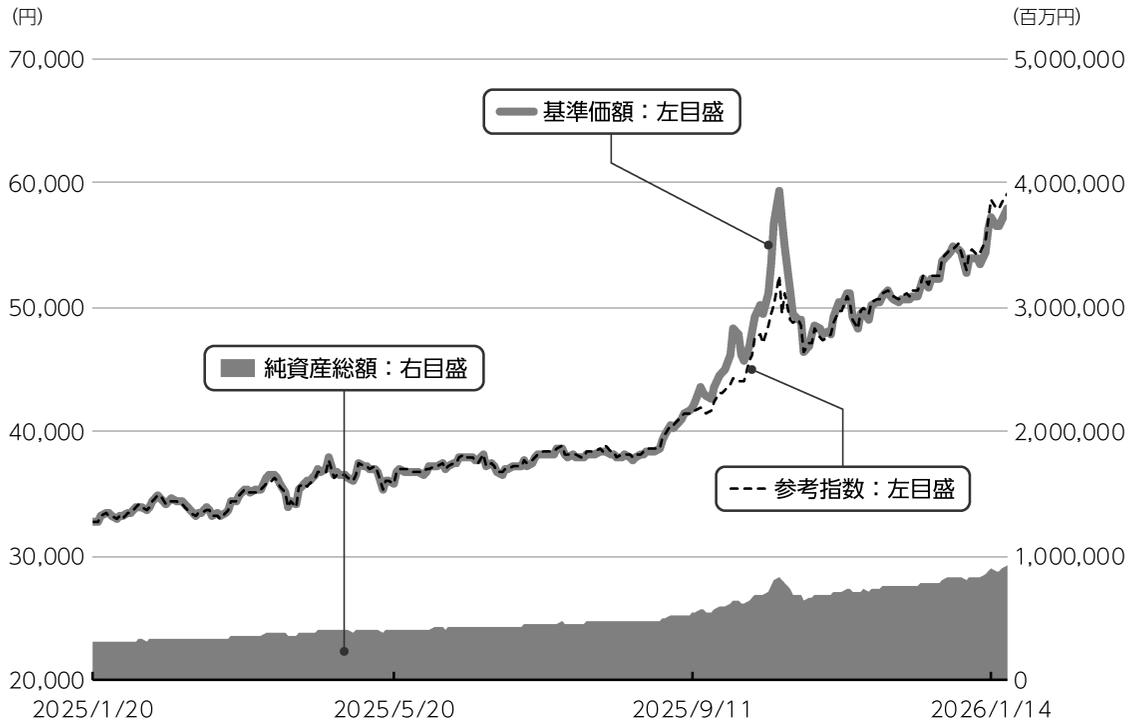
(注) 騰落率は期首比。

運用経過

第15期：2025年1月21日～2026年1月20日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第15期首	32,736円
第15期末	57,985円
既払分配金	0円
騰落率	77.1%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ77.1%の上昇となりました。

基準価額の変動要因**上昇要因**

ドル建て金価格の上昇等が基準価額の上昇要因となりました。
なお2025年10月頃には、当ファンドの投資対象である純金上場信託「金の果実」の買い需要が極めて優勢となり、「金の果実」の市場価格が「金の果実」の基準価額以上に上昇する局面が生じたため、一時的に当ファンドの基準価額と参考指数に一定の乖離が生じました。

第15期：2025年1月21日～2026年1月20日

投資環境について

▶ 金市況

金価格は上昇しました。

期間の初めから期間末にかけて、地政学リスクの高まりや中央銀行による金購入等による安全資産需要の拡大等を背景に、金相場は堅調に推移しました。期間を通じて見ると金価格は上昇しました。

▶ 為替市況

期間を通じて見ると円安・米ドル高となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

純金上場信託（現物国内保管型）を主要投資対象とし、わが国の取引所における金価格の値動きをとらえることをめざして運用を行いました。

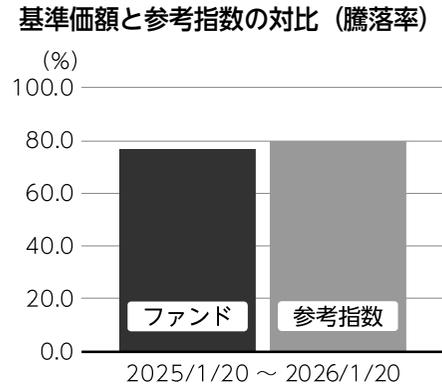
▶ 参考指数との比較

参考指数は期間の初めと比べて80.1%の上昇となりました。当ファンドの投資対象である純金上場信託「金の果実」は

79.2%上昇しました。当ファンドと参考指数の乖離のうち、△0.9%程度は参考指数と当ファンドの投資対象である純金上場信託「金の果実」の値動きが必ずしも一致しないことに起因するものです。また、△2.1%程度は当ファンドにおいて一定のキャッシュを保有していることや信託報酬、取引コスト等によるものです。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
参考指数は指標価格です。



分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第15期 2025年1月21日～2026年1月20日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	47,985

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

純金上場信託「金の果実」を高位に組み入れることにより、わが国の取引所における金価格の値動きをとらえることをめざします。

2025年1月21日～2026年1月20日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	228	0.553	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(103)	(0.249)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(102)	(0.248)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(23)	(0.056)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	7	0.017	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(投 資 信 託 証 券)	(7)	(0.017)	
(c) その他費用	1	0.002	(c) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	236	0.572	

期中の平均基準価額は、41,269円です。

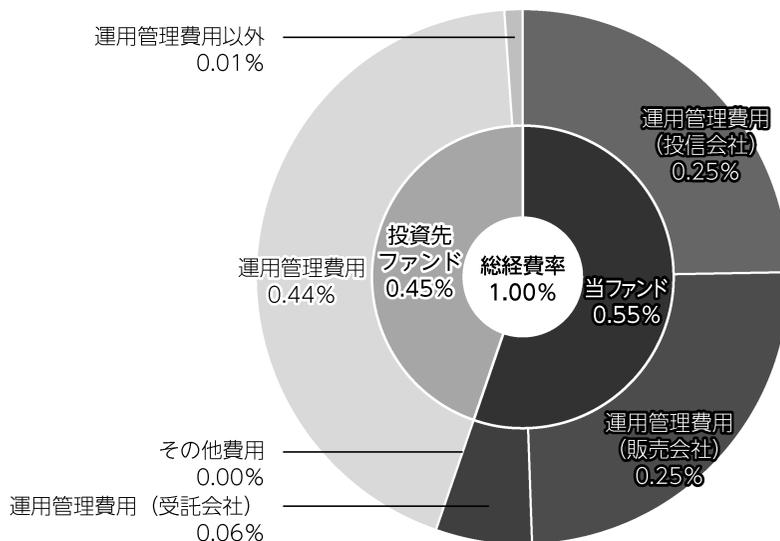
- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.00%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	1.00
①当ファンドの費用の比率	(%)	0.55
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.44
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.01

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) ①の費用は、有価証券貸付の品貸料の一部收受分を含めている場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年1月21日～2026年1月20日)

受益証券発行信託の受益証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	純金上場信託（現物国内保管型）	千口 16,984	千円 286,731,739	千口 746	千円 12,412,773

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2025年1月21日～2026年1月20日)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	%
受益証券発行信託の受益証券	百万円 286,731	百万円 32,412	11.3	百万円 12,412	百万円 -	-
貸付有価証券(受益証券発行信託の受益証券)	17,579	17,579	100.0	17,556	17,556	100.0

利害関係人の発行する有価証券等

種類	買付額	売付額	当期末保有額
受益証券発行信託の受益証券	百万円 286,731	百万円 12,412	百万円 906,363

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	84,419千円
うち利害関係人への支払額 (B)	3,322千円
(B) / (A)	3.9%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2026年1月20日現在)

国内受益証券発行信託の受益証券

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
		千口	千口	千円	%
純金上場信託（現物国内保管型）		23,288	39,527	906,363,075	99.8
合	計	23,288	39,527	906,363,075	
	口 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	< 99.8% >	

(注) 比率および合計欄の〈 〉内は、純資産総額に対する評価額の比率。

【主なETF（上場信託）の概要】

ETFの直近の入手しうる有価証券報告書等から抜粋して作成しています。

ファンド名	純金上場信託（現物国内保管型）（愛称：「金の果実」）
内容	金地金を信託財産とした信託に係る受益権を金融商品取引所に上場し、受益者の投資に資するよう受託者が主として金地金を信託財産として管理及び処分することを目的とするETFです。
指標価格	金地金の現在価値を算出するために、大阪取引所における金1グラムあたりの先物価格を、金のフォワードレートで現在価値に引き直した理論価格として受託者が算出します。
決算月	1月

【損益計算書】

		(単位：千円)
		(自 2024年1月21日 至 2025年1月20日)
営業収益	その他の事業収益	(注1) 705,322
	営業収益合計	705,322
営業費用	受託者報酬	1,714,839
	その他費用	35,207
	その他の事業費用	-
	営業費用合計	1,750,046
営業損失(△)		△1,044,724
営業外収益	受取利息	-
	営業外収益合計	-
経常損失(△)		△1,044,724
税引前当期純損失(△)		△1,044,724
当期純損失(△)		△1,044,724

(注1) その他の事業収益とは、信託約款第23条に基づく信託財産の売却による利益であります。

【信託財産を構成する資産の内容】

①金地金

資産の種類	金地金
品質	信託契約に定める所定の要件(注1)を満たすもの
質量	39,994,314.645g(2025年1月20日時点)(注2)
価格	301,235,097,187円(2025年1月20日時点)(注3)
保管場所	サブ・カस्टディアン(日本国内)

(注1) 純度が99.99%以上のものを指します。

(注2) 受託者は、信託報酬等の支払い等に必要な限度で信託財産を構成する金地金を売却しますので、信託財産を構成する金地金の質量はかかる売却により減少します。売却される信託財産を構成する金地金の質量は、信託報酬等の額と売却時における信託財産を構成する金地金の市場価格によって異なります。また、信託財産は、追加信託により増加し、転換により減少する場合があります。

(注3) 計算期間末日(2025年1月20日)時点における金地金の総額(簿価)を記載しております。

○有価証券の貸付及び借入の状況

(2026年1月20日現在)

区 分	当 期 末	
	数	量
貸付有価証券<受益証券発行信託の受益証券>総口数 (三菱UFJモルガン・スタンレー証券)		口 1,175 (1,175)

(注) ()内は利害関係人との貸付状況です。

○投資信託財産の構成

(2026年1月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
受益証券発行信託の受益証券	千円 906,363,075	% 98.7
コール・ローン等、その他	12,317,495	1.3
投資信託財産総額	918,680,570	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年1月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	918,680,570,908
コール・ローン等	12,317,244,163
受益証券発行信託の受益証券(評価額)	906,363,075,630
未収利息	240,662
その他未収収益	10,453
(B) 負債	10,098,956,293
未払金	5,287,837,104
未払解約金	2,970,271,573
未払信託報酬	1,808,924,341
未払利息	10,650
受入担保金	27,512,625
その他未払費用	4,400,000
(C) 純資産総額(A-B)	908,581,614,615
元本	156,691,197,762
次期繰越損益金	751,890,416,853
(D) 受益権総口数	156,691,197,762口
1万口当たり基準価額(C/D)	57,985円

<注記事項>

- ①期首元本額 91,253,936,792円
 期中追加設定元本額 118,333,963,516円
 期中一部解約元本額 52,896,702,546円
 また、1口当たり純資産額は、期末5.7985円です。

②分配金の計算過程

項 目	2025年1月21日～ 2026年1月20日
費用控除後の配当等収益額	54,030,084円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	284,984,764,924円
収益調整金額	415,186,887,613円
分配準備積立金額	51,664,734,232円
当ファンドの分配対象収益額	751,890,416,853円
1万口当たり収益分配対象額	47,985円
1万口当たり分配金額	—円
収益分配金金額	—円

○損益の状況 (2025年1月21日～2026年1月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	54,599,364
受取利息	37,173,314
その他収益金	22,105,551
支払利息	△ 4,679,501
(B) 有価証券売買損益	287,830,593,356
売買益	334,022,360,462
売買損	△ 46,191,767,106
(C) 信託報酬等	△ 2,846,397,712
(D) 当期損益金(A+B+C)	285,038,795,008
(E) 前期繰越損益金	51,664,734,232
(F) 追加信託差損益金	415,186,887,613
(配当等相当額)	(216,860,446,709)
(売買損益相当額)	(198,326,440,904)
(G) 計(D+E+F)	751,890,416,853
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	751,890,416,853
追加信託差損益金	415,186,887,613
(配当等相当額)	(216,860,446,709)
(売買損益相当額)	(198,326,440,904)
分配準備積立金	336,703,529,240

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*三菱UFJアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お知らせ】

- ①投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。
(2025年4月1日)
- ②有価証券の貸付の品貸料の一部を信託報酬として収受可能とするための記載追加を行い、信託約款に所要の変更を行いました。
(2025年4月19日)
- ③今後も資金流入が見込まれ信託金限度額に到達する可能性が高いため、信託金限度額の引き上げを行い、信託約款に所要の変更を行いました。
(2025年10月18日)
- ④市況非常時における例外対応につき明確化し、投資態度の記載追加のため、信託約款に所要の変更を行いました。
(2025年12月5日)
- ⑤2025年4月に使用開始の交付目論見書、請求目論見書記載の「代表的な資産クラスの騰落率の平均値」について誤りがございました。誤記載の内容および訂正内容については、下記の通りです。

記

<誤記載の箇所>

交付目論見書、請求目論見書の「ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較」のグラフのうち、「新興国債」の騰落率の「平均値」(2020年2月末～2025年1月末)

<訂正内容>

正：6.7

誤：6.6